

# 福電協会報

第87号



一般社団法人 福岡電業協会  
2017.1

# 福電協会報

第87号

## ◀もくじ▶

会長挨拶	西村 松次	1	
祝　　辞	国土交通省九州地方整備局 局長 小平田浩司	2	
	福岡県知事 小川 洋	3	
	福岡市長 高島宗一郎	4	
平成29年新年賀詞交歓会		5	
施設紹介			
	福岡市中央卸売市場青果市場の紹介	6	
技術レポート			
	本店ビルへのコンテナ型NAS <sup>®</sup>		
	電池システムの導入	9	
	メガソーラー向けストリング 監視システム開発	13	
	写真コンクール(第36回)	18	
	横顔紹介と隨筆	22	
	シリーズ郷土	桂川町	27
	シリーズ職場訪問		
	日本電設工業(株)九州支店	30	
事業報告			
	平成28年度「技術見学会」実施	31	
	技術講習会の実施	32	
	国交省・九地整との定例懇談会開催	33	
	防衛省・九州防衛局との定例懇談会開催	34	
	第24回福電協ボウリング大会	35	
	福電協ゴルフ大会(84・85回)	36	
	高校生「施工現場見学会」を開催	38	
委員会だより			
	総務委員会	39	
	広報委員会	39	
	技術委員会	39	
	事業委員会	40	
	協会組織	41	
	会員名簿	42	
	役員名簿	45	

## 表紙のことば

福岡市のアイランドシティに敷地面積約15万m<sup>2</sup>の広さに約363億円が投じられた福岡市立青果市場(ベジフルスタジアム)が平成28年2月12日に開場されました。

施設は3棟で、卸売場西棟、卸売場東棟、会館棟からなっています。

## 「夢と生きがいのある電設業界」を目指し

一般社団法人 福岡電業協会

会長 西 松 次



新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

福岡電業協会は、日本電設工業協会と歩調を合わせ、電気工事業界の健全な進歩発展と、社会公共の福祉増進に寄与してまいります。

昨年は、全国的に自然災害の多い年でした。特に九州地方では、4月の熊本地震、10月の阿蘇山噴火など、大きな災害が立て続けに発生しました。

また、11月には、福岡市において大規模な陥没事故も発生しました。経済・産業活動や、国民生活を支えるライフラインを担う電設業界は、このような災害に備えるとともに、様々な課題に積極的に取り組むことが重要であり、我々、福岡電業協会も、その一翼を担う所存であります。

さて、建設業界は、労働力人口の減少に伴う就業構造の変化に直面しており、建設産業の未来を切り開く活発な議論を、関係機関・関係団体と進めなければなりません。

この様な状況の中、我々業界が健全に発展していく為には、「担い手の育成・確保、生産性向上」が最重要課題であります。電設業界の魅力・やりがい・達成感等を、積極的に情報発信し、若者の入職促進を図らなければなりません。昨年は、九電工アカデミーにおける実技講習会の開催、工業高校生を対象とした施工中の建設現場の見学会や高校OBとの

意見交換会の実施により、技能者の能力向上や、若年者の建設業に対する理解度アップに努めてきました。

今年も、引き続き、各種講習会の開催を含め、数多くの事業に取り組む予定であります。

この様に「夢と生きがいのある電設業界」を目指し、新アクションプランに掲げた重点目標を着実に実現するため、正会員・賛助会員に限らず、関係機関・関係団体と連携を強化しつつ、強力な運動を開拓していくことが、電設業界の成長と発展になるものと確信し、期待しております。

最後になりますが、今年が皆様方にとって最良の年となり、お互いに実り多き一年になりますよう祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



## 年頭挨拶

国土交通省九州地方整備局

局長 小平田 浩 司



年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人福岡電業協会の皆様には、平素より、国土交通行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、4月の熊本地震を始めとして、6月豪雨や台風16号による災害、阿蘇山の噴火等自然災害が相次ぎました。

特に、甚大な被害が発生した熊本地震では、地震直後より、一刻も早い被災地の復旧のため、リエンジン（現地情報連絡員）を被災市町村等に派遣し、情報収集に努めました。さらに、全国の地方整備局等の協力も得てTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を現地に派遣しました。協定締結の各団体による昼夜を問わない活動もあり、4月末までに応急復旧を概ね完了させました。7月には「熊本地震災害対策推進室」を設置し、現在は本復旧の早期完了に取り組んでいるところです。引き続き、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、総力を挙げて取り組んで参ります。

九州の更なる発展には、経済成長や地方創生を統的に実現させることが重要です。人口減少下にあっても「稼げる国土、住み続けられる国土」の実現を図る地域戦略を示した「九州圏広域地方計画」と、その実現に向けて社会資本整備のストック効果を盛り込んだ「九州ブロックにおける社会資本整備重点計画」を昨年3月に策定しました。大規模な自

然災害に備え、災害対策活動に必要な官庁施設の耐震安全性の向上や、南海トラフ地震における合同庁舎等の施設強化を図ることとしています。今後は、両計画をもとに九州の発展に向けた対策を着実に推進して参ります。

昨年は「生産性革命元年」と位置づけ、経済成長を支えるストック効果の高い社会資本の整備・活用等の取組を進めているところです。特に、建設現場の生産性については2025年までに20%向上させることを目標に、「i-Construction」を推進し、生産性や安全性を飛躍的に向上させ、企業の経営環境を改善させることで、働きやすく、やりがいを持てる職場作りを目指した取組を行って参ります。

また、建設現場の完全週休2日制のモデル工事や快適な専用トイレの導入など労働環境の改善に向けた取組を継続することで、社会基盤整備やインフラメンテナンスをはじめ、地域の防災にも不可欠な存在である建設業の担い手確保に努めて参ります。

最後になりますが、皆様にとりまして実り多い年となることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。



## 年頭挨拶

福岡県知事

小川 洋



新年あけましておめでとうございます。一般社団法人福岡電業協会の皆さんには、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から電気設備工事の安全施工に向け、技術力や保安意識の向上にご尽力いただき、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、総じて、福岡県は元気な一年でした。

福岡県の人口は、国勢調査の結果、全国第9位の510万1,556人、昭和45年の調査から増え続けています。

県の経済は緩やかな回復が続いている、特に、有効求人倍率が昭和38年の統計開始以来最高水準で推移するなど、雇用面での改善が進んでいます。

「G7北九州エネルギー大臣会合」、「ライオンズクラブ国際大会」、「One Health」に関する国際会議など大きな国際会議も開かれ、多くの外国の方々に福岡県のさまざまな魅力を発信することができました。

知事就任以来実施している「県民意識調査」では、「この県に生まれてよかった。生活してよかった」と感じている方が初めて8割を超えるました。

今年は、熊本地震の復興を全力で支援し、福岡県、九州をもっと元気にする年にしたい、とりわけ、7月の『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録を実現し、10月の「全国豊かな海づくり大会」を成功させ、福岡県の魅力と元気の良さを国内外に発信したいと思います。

そして、「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して、新たな総合計画を策定し、福岡県をもっと元気にする

施策はさらに伸ばしていく、いろいろな課題や問題を抱えている方々に寄り添う、温かみのある行政に力を入れていきます。

まず、県経済の回復を確固たるものにします。

県内雇用の8割を担い、本県経済の発展と活力の原動力である中小企業に対し、その成長段階や事業環境に応じたきめ細かな支援を行います。

グリーンアジア国際戦略総合特区は、これまで、57社がこの制度を活用し、約1,680億円の追加設備投資と1,080人の雇用が生まれています。

開発・設計から生産まで一貫して担い世界有数の生産拠点となった自動車産業の振興を図るとともに、バイオ、医療・福祉機器、航空機などの先端成長産業を育成するほか、IoT等を活用した新たなビジネスモデルの創出にも取り組みます。

そして、「安全、安心、災害に強い県づくり」です。

熊本地震の教訓を踏まえ、安全、安心、災害に強い福岡県づくりを進めます。安全・安心への関心が高まっている昨今、生活と産業の基盤を支える社会の根幹をなすインフラである電気設備の果たす役割は、重要な広範囲になっており、高度化・多様化する社会ニーズに的確に対応することが求められています。

電気設備工事に携わる皆さまは、時代が求める新しい知識と技能の習得に努められ、地域の皆さまへ安全・安心を提供いただきますようお願いいたします。

新年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

## 年頭挨拶

福岡市長

高島 宗一郎



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人福岡電業協会の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

福岡市では、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環をつくり出すために、様々なチャレンジを進めています。そして、市の取組みと市民・企業や団体の皆様の活動が相まって、福岡は今、活力にあふれています。

入込観光客数や外国人入国者数、クルーズ船の寄港回数などは過去最高を更新し、好調な経済を背景に、市税収入は3年連続で過去最高を更新しました。

そして、このような成長の果実を、さらなる生活の質の向上に振り向け、子育て支援や教育環境の充実、子どもの貧困対策の推進、健康寿命の延伸やICTを活用した高齢者の見守り、地域包括ケア情報プラットフォームの構築などに取り組んでいます。

一方で、都市の成長による旺盛な需要に応えきれず、クルーズ船の寄港や国際会議の開催をお断りするなど、経済的な機会損失が発生しています。そこで、さらなる成長をめざし、福岡を次のステージに飛躍させるためのチャレンジ「FUKUOKA NEXT」に取り組んでいます。

都市の供給力を高める「天神ビッグバン」や「ウォーターフロントネクスト」などが目に見える形で動き出しており、この動きをさらに加速させていきます。そして新たに、最先端の知見と革新的な技術を活かした新しい未来のまちづくりを進める

「FUKUOKA Smart EAST」も始動いたしました。

生活の質の向上に向けても、市民の皆様が、安心して、いきいきと暮らせる持続可能な社会の実現に向けて、「共創の地域づくり」や「配る福祉から支える福祉への転換」、「健康先進都市づくり」、さらに、熊本地震の教訓を踏まえ、最新テクノロジーも活用した「地域防災力の向上」など、様々な新しい取組みを積極的に進めてまいります。

「福岡電業協会」の皆様方には、学校や住宅をはじめ公共施設等の整備を通して市民が安心、安全で快適に暮らせるまちづくりにご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、市民アンケート調査では「住みやすい」と答えた方が95.8%となり、海外の「最も住みやすい都市」のランキングでも7位と、いずれも、これまで最も高い数値となりました。

今年も、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を目指し、そして、福岡市がもっと明るい雰囲気に包まれるように、市民・企業の皆様とともに、全力でチャレンジしていきたいと考えています。

皆様におかれましては、今まで蓄積してこられた優れた技術を発揮していただき、市民生活の維持・向上のため、今年も引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

最後になりますが、皆様の今年一年のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

# 平成29年 新年賀詞交歓会

(一社)福岡電業協会として恒例の「新年賀詞交歓会」が平成29年1月10日(火曜日)西鉄グランドホテルにおいて開催された。

当日は来賓として、国土交通省九州地方整備局、経済産業省九州産業保安監督部、防衛省九州防衛局、独立行政法人 都市再生機構九州支社、福岡県、福岡市、福岡市議会等から多数出席を頂き、正会員及び賛助会員もあわせて200名の参加を得ての開催であった。

主催者を代表して、西村会長より昨年は全国的に災害の多い年であり、経済・産業活動や国民生活を支えるライフラインを担う電気業界は、このような災害に備えるとともに様々な課題に積極的に取り組むことが重要であり、我々福岡電業協会も、その一翼を担う所存である。さらに電気業界が健全に発展していくためには、「担い手の育成・確保、生産性向上」が最重要課題であり、業界の魅力・やりがい・達成感を積極的に情報発信し、若者の入職促進を図っていくとの挨拶であった。

来賓を代表して、九州地方整備局 小平田局長の代理として佐藤営繕部長が、熊本地震ではまだ多くの方が被災して不自由な生活を余儀なくされている。九州地方整備局は当時、発生後速やかにリエゾン及びTEC-FORCEを県・市町村に派遣し、災害後の支援をさせていただいた。被災後直ちに応急対策にかかわられた皆様、今までに復旧・復興に尽力されている皆様には心から敬意を表します。引き続き九州地方整備局では復旧・復興に向けて総力を挙げてとり組んでいくとの挨拶であった。

続いて福岡県小川知事の代理として商工部工業保安課 田村課長技術補佐が、安全・安心への関心が高まっている昨今、生活と産業の基盤を支える社会の根幹をなすインフラである電気設備の果たす役割は重要かつ広範囲になって、高度化・多様化する社会ニーズに的確に対応することが求められ、電気設備工事に携わる皆様は時代が求める新しい知識と技能の習得に努められ、地域の皆様への安全・安心を提供いただきますようにお願いしますとの挨拶であった。

最後に、福岡市 高島市長の代理として、財政局三角理事より「福岡電業協会」の皆様方には、学校や住宅を始め公共施設等の整備を通して市民に安心・安全で快適に暮らせる町づくりの協力の御願いと、今年も「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を目指し、福岡市がもっと明るい雰囲気に包まれるように、市民・企業の皆様とともに全力でチャレンジしていきたいとの挨拶であった。

引き続き来賓紹介が行われ、経済産業省九州産業保安監督部上條部長の挨拶と乾杯のご発声で祝宴となった。

会員各位がご来賓の皆様と新年の挨拶を交わしたり、会員相互の懇親を深め、和気あいあいとした雰囲気の中、新春の楽しいひと時を過ごした。

最後に、福岡電業協会 島田副会長が来賓の方々への御礼と福岡電業協会が「夢と生きがいのある電設業界」を目指すの決意があり、万歳三唱を声高らかに執り行い盛会に終えた。

